

2021年5月11日掲載 輸送経済新聞

埼玉整備工場が竣工

第一貨物 八潮社宅も同時に

第一貨物(本社・山形市、米田総一郎社長)は埼玉県吉川市に新しい「埼玉整備工場」(写真)を竣(しゅん)工。4月15日から営業を開始している。9ストールと最新鋭設備を備え、車両整備の効率性向上を図る。(矢田 健一郎)

新・埼玉整備工場は吉川市栄町1557ノ1にオープン。東京支店(東)と八潮支店(埼玉県八潮市)内にあ



整備士に優しい最新鋭設備に加え、八潮社宅の居住環境の良さも魅力

った埼玉整備工場を統合・移転した。敷地面積約9100平方

方尺、延べ床面積約2400平方尺。整備場は、塗装専用1ストールを含む9ストールと完成車検場、屋内洗車場が1カ所ずつ。アーム式リフト、2柱、3柱、4柱各リフトが2つ3基、フロアリフトが1基。

屋内で冷暖房
住環境も改善
同社初の完全屋内型と

し、整備場に冷暖房を完備したことも特長。女性整備士に対応して洗濯機付き更衣室、トイレ、シャワールームも備えた。整備工場しゅん工と同日「八潮社宅」もリニューアルした。八潮支店に



従来の東京、埼玉両整備工場を統合しオープン

併設され、5階建て、一部3階建てで全47戸。内新・埼玉整備工場では

訳は1K 34 当画、社内のトラック整備を中心に行い、計画定期整備台数は年間約5000台、うち約1500台は車検整備。将来的には、社外のユーザーの車を預かり整備することも視野に入れており、計画定期整備台数は同7000台、うち約2000台は車検整備。埼玉整備工場と八潮社宅のリニューアルは、東京支店の移転・新築を含む設備投資計画「東京プロジェクト」の一環。